

第3期千歳市商業振興プラン 第4回策定懇話会議事概要

開催日時：令和3年2月19日（金）14：00～15：40

開催場所：千歳市役所 議会棟大会議室

出席者

【審議会委員】10名【事務局】9名

議事次第

1 開 会

2 議題

- (1) 第3期千歳市商業振興プランについて
- (2) 今後のスケジュールについて
- (3) その他

3 閉 会

議事概要

1 開 会

2 議題

(1) 第3期千歳市商業振興プランについて

(事務局)

- ・素案1章～4章まで説明。
- ・冊子のデザインは市民の方に親しみを持ってもらえるように作成する予定。
- ・第1章では、千歳市商業振興プランの策定について、概要、プランの期間、策定方法を記載している。
- ・第2章では、千歳市の概要、産業、商店街について記載している。千歳市は生産年齢人口が多いことが特徴であり、近年では訪日外国人観光客も増加傾向にあった。しかし、昨今の新型コロナウイルスの影響もあり、令和2年度の観光客は大幅に減ると見込まれている。市内には店舗面積が1,000㎡の大型店舗が26店あり、増加傾向にある。
- ・第3章では、第2期商業振興プランの検証結果を記載している。商店街ではイルミネーションのライトアップを実施したほか、ふゆまつりなどのイベントを開催するなど、ある程度の成果が見られた一方で、子育て世代が来店しやすい店づくりや外国人向けの店づくりの取組について、改善の余地があったと考える。
- ・第4章では、市民アンケートを通じて、千歳市の商業の現状と課題を記載している。その結果から、「チャレンジする商業」「商業の魅力向上」「歩いて楽しい人が集まるまちづくり」の3つの取組の方向性を示した。
- ・1章から4章までの説明に対し、ご質問やご意見などをいただきたい。

(委員)

- ・2章の「千歳市の小売業の商品販売額・売り場面積の推移」に関して、平成28年が最新となっているが、それ以降のデータはないのか。また、対象の店舗は大型店も含まれているのか。

(事務局)

- ・平成28年のデータが最新となっており、それ以降では比較できるデータがない。対象店舗には大型店も含まれている。

(会長)

- ・次期プランはどのように配布する予定か。

(事務局)

- ・公共施設を中心に配布し、市民が手に取りやすく、広く見てもらえるようにしたい。
- ・市のホームページにも掲載する予定である。

(委員)

- ・市のホームページに掲載した場合、閲覧数は知ることができるのか。また、若い世代向けにLINEで千歳市公式アカウントを作成し、タイムラインで表示をするなど、SNSを活用すればより見てもらえる機会が増えると思う。

(事務局)

- ・閲覧数を知ることができるかは確認する。また、SNSの活用についても検討したい。

(会長)

- ・市のホームページに掲載するような、能動的な情報の取り方に加えて、SNSなどで情報発信するなど、市民が受動的に情報を得られるような工夫は必要である。
- ・3章に掲載されている第2期商業振興プランの検証結果については、具体的な活動例や成果の数字があっても良い。

(事務局)

- ・具体的な活動内容、実績等を記載するかどうかは検討する。

(事務局)

- ・次期プラン5・6章の説明。
- ・第5・6章では、第4章で示した3つの方向性について、3つの基本方針と基本方針ごとの施策の展開方法、目標、推進管理について記載している。
- ・5・6章の説明に対し、ご質問やご意見などをいただきたい。

(委員)

- ・次期プランにおいて、具体的な実施計画を持たないにしても、この内容で計画が進むのか懸念が残る。文章をみると、「促進します」、「推進します」といった表現が多く、市民がイメージしにくいのではないかと。市民がわかりやすく、イメージが付きやすいもの、例えばモデルとする景観等があれば良いと思う。

(事務局)

- ・具体的な実施計画を示すことの是非について検討した結果、実施計画を具体的に持たない方が事業者にとって流動的に物事を進めやすくなると思った。実施計画を持たないにしても、連絡調整会議の中で進捗について共有し、相互に連携しながら進めていきたいと考えている。
- ・イメージするまちの将来像はプランの冒頭でイラストによりわかりやすい形で見せたいと考えている。

(委員)

- ・まちゼミの受講者数の指標は開催件数の方がいいのではないかと。

(事務局)

- ・まちゼミを開催件数にした場合、開催すれば参加した人がたとえ 0 名であっても実績となってしまうため、受講人数を指標とした。

(委員)

- ・今後、若年層への聞き取り調査を行う予定はあるのか。
- ・発見とワクワク感のあるコト消費型のまちの形成について、学生からの意見として、サブイバルゲームの店などの専門店があれば行きたいという記載があるが、学生は皆、そのような店を望んでいると誤解される恐れもあるため、記載方法について検討をしていただきたい。

(事務局)

- ・アンケートやヒアリングで意見の聴取を行っているので、改めて調査を行う予定はない。
- ・専門店に関する学生の意見については、特色のある店舗が増えることによって商店街の魅力が増すという趣旨であると認識をしている。

(委員)

- ・アンケートやヒアリングで、雑貨店、カフェなどの要望が見られるが、持続可能な店舗となり得るのか懸念がある。

(会長)

- ・具体的な実施計画を記載しないのであれば、成果目標（指標）は重要となるため、内容については注意して記載する必要がある。また、場合によっては取組例を具体的に書く必要がある。

(事務局)

- ・今回の会議で出たご意見を参考に最終版の完成に向け、修正を図っていきたいと思う。

(2) 今後のスケジュール

(3) その他

(事務局)

- ・最終回の第5回策定懇話会の日時は、3月25日～30日の間で予定している。詳細日時は別途ご連絡する。
- ・本日いただいたご意見や委員会の意見、庁内の調整結果等を反映し、デザイン等も含めた案を改めてご覧いただき、全体を通してご意見をいただきたい。

3 閉会